

クラウドファンディングで農産物のブランディングにチャレンジ！

ふるさと納税を活用した「クラウドファンディング」で、古賀産のいちごや玉子などの農産物のブランディングに挑戦する農業者を支援します。

挑戦者として名乗りを上げたのは、新規就農者として「あまおう」や白い見た目をめざす藤井良紀さん。女性農業者として長年養鶏業を営む木村真砂子さんは、一羽の鶏からわずか1週間程度しか採れない「初卵」の商品化に挑みます。観光農園整備支援事業では、天野朋宏さん、中村淳さん、(有)グリーン・アースさんらが、ブルーベリーの観光農園化に取り組みます。

■実施スケジュール

募集期間：令和4年11月11日～12月31日（ふるさとチョイスを活用）
インターネット等で募集

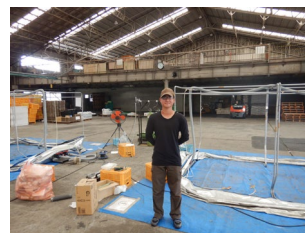
■背景と課題・目的

古賀市では、都市近郊型の果樹や野菜などの園芸農業が盛んですが、農業者の高齢化や後継者不足、新たな特産品づくりなど様々な課題があります。今後の農業や社会の持続可能性を高めていくには、若い力や女性の柔軟な発想や新たなアイデアは必要不可欠です。

■実施内容

【新規就農者：藤井良紀さん】目標金額：100万円

海外でも高い評価を得ている「あまおう」と白い見た目が特徴的な「エンジェルエイト」の2品種を海外で売り出し、多角的な販路の拡大をめざします。主に現地での商談、バックオーダーを取りやすくするための専用箱の開発にもあわせて取り組みます。



【女性農業者：木村真砂子さん】目標金額：100万円

鶏が卵を生み始めてから約1週間以内の卵を「初卵」と言い、小振りながら栄養価も高く味も濃厚といった特徴があります。しかし、サイズが小さいため通常の出荷に向かず、農家での自家消費や直売所での販売などが一般的となっていました。

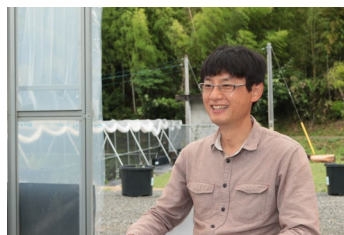
今回「初卵」の持つ特徴を生かしてブランド化し、新たに売り出すためのパッケージ開発に取り組みます。



【観光農園：天野朋宏さん、中村淳さん、(有)グリーン・アースさん】

目標金額：それぞれ 300 万円

天野さんのブルーベリー農園は、古賀市^{こも}薦野の山間に位置し、農園から玄界灘まで見通せる景観が売りのひとつです。しかし、害獣の被害が多く、今シーズンは栽培しているブルーベリーの約4分の1が被害に遭いました。また、気温上昇への対策も加課題です。今回の取組で、お客さんに安心してブルーベリー狩りを楽しんでもらい、害獣被害を抑えるための防護柵を設置します。また、暑さ対策として休憩スペースの整備をあわせて行います。



中村さんは、古賀市^{しんぼろ}新原に新たにブルーベリー観光農園を開園させるために、整備に取り組んでいます。園内の段差を少なくして、子どもから高齢者まで楽しめる、バリアフリーな観光農園を目指していて、特に水回りやトイレなどに配慮した空間づくりや、休憩スペースの整備に今回取り組みます。



(有)グリーン・アースさんは、古賀市薬王寺に観光農園をオープン予定で、これまでの造園業で培った空間づくりのノウハウを生かし、薬王寺地区のもつ「癒し」のイメージを体現した観光農園作りに取り組みます。



※ふるさと納税対象のため、古賀市民以外の寄付に限り、対象の返戻品を選択することができます。

【問い合わせ先】

古賀市役所 農林振興課農政係 担当：大渡、松尾、高原
電話：092-942-1120